

●評価項目一覧表

(北九州市立大学及び旦過市場共同建物新築工事実施設計業務委託)

評価基準					評価点	配点		備考
実施体制（書面審査）	企業要件	単体・代表者	・平成17年度以降に大学施設延べ面積1,000㎡超（校舎・研究棟に限る）の設計業務の実績	4,000㎡超	4	4	20	様式3
				2,000㎡超	3			
				1,000㎡超	2			
	配置予定技術者の経験等	管理技術者 （単体又は共同企業体の代表者に所属）	・平成17年度以降に大学施設延べ面積1,000㎡超（校舎・研究棟に限る）の設計業務の実績	3件	4	4		様式4－1
				2件	3			
				1件	2			
				0件	1			
		主任技術者 （意匠）	・平成17年度以降に学校施設（学校教育法第1条による施設）延べ面積1,000㎡超（校舎・研究棟に限る）の設計業務の実績	2件	4	4		様式4－2
				1件	2			
				0件	1			
		主任技術者 （構造）	・平成17年度以降に構造設計業務の実績（延べ面積）	8,000㎡超	4	4		様式4－3
				4,000㎡超	2			
				4,000㎡以下	1			
		主任技術者 （設備）	・平成17年度以降に学校施設（学校教育法第1条による施設）延べ面積1,000㎡超（校舎・研究棟に限る）の設計業務の実績	2件	4	4		様式4－4
				1件	2			
				0件	1			
技術提案力（ヒアリング）	業務実施方針		・業務の内容（意匠・構造・設備等）を十分に理解した実施方針となっているか。			5	10	様式自由
			・業務への取組み体制、業務スケジュールが適切に計画されているか。			5		A4縦2枚 若しくは A3横1枚
	特定テーマ（1）	【コンセプト・機能・デザイン・景観等】 ・新学部は、情報関連企業が集積する小倉都心部に設置予定であり、企業等との連携による高度なデジタル人材を輩出、供給することを目的としており、当該建物は、市内企業を中心とした産学連携によるイノベーションを生み出す共創の拠点として、まちのにぎわいづくりを創出し、地域とともに歩むキャンパスを目指している。 また、立体道路制度を活用し、A地区建物（旦過地区立体換地建築物）との一体性を実現し、まちと調和した景観を創出することを目指している。 そのため、実施設計では、基本設計の成果を生かしながら、詳細に進めていく上での事業全体のコンセプトや大学施設に相応しい機能・デザイン・景観等についての提案を求める。		・事業全体のコンセプトが本事業の目的に合致しているか。		10	20	様式自由
				・大学施設に相応しい機能・デザイン・景観を形成するものになっているか。		10		A4縦2枚 若しくは A3横1枚
	特定テーマ（2）	【商業施設設計者との連携】 ・当該建物は1階の商業施設との区分所有の建物となり、商業施設設計は、別の発注者により実施されるため、建物全体の調整を行う上で商業施設設計者との連携の図り方についての提案を求める。		・商業施設設計者との意思疎通が円滑に図れる提案となっているか。		5	10	様式自由
				・実現するための方策が明確となっているか。		5		A4縦2枚 若しくは A3横1枚
	特定テーマ（3）	【工期短縮・コスト縮減・環境計画・ランニングコスト縮減等】 ・工事期間中の市場営業や新学部開設スケジュールへの影響を最小限に留めるため、可能な限りの「全体工期の短縮」を図ることが求められる。 ・基本設計の成果をもとに、「建物整備費の縮減」や「環境面への配慮」が必要。 ・また、建物整備後も「ランニングコスト縮減」や「維持管理のしやすさ」に配慮が必要。 ・以上の課題と基本設計の内容を踏まえ、設計者の視点から全体工期の短縮・コスト縮減・省エネルギー化の推進・ランニングコスト縮減、技術協力者との連携の図り方についての提案を求める。		・全体工期の短縮が期待できる提案がなされているか。		5	25	様式自由 A4縦2枚 若しくは A3横1枚
				・建物整備費のコスト縮減が期待できる提案がなされているか。		5		
				・省エネルギー化の推進など環境面に配慮した提案がなされているか。		5		
				・ランニングコスト縮減や維持管理についての有効な提案がなされているか。		5		
				・技術協力者との迅速な意思決定が行える提案となっているか。		5		
	特定テーマ（4）	【価格の検証方法】 ・実施設計の進捗に応じ、技術協力者から建物整備費の「価格提案」を受けるとしている。 ・これに対し、技術協力者から提案された価格の妥当性を確認するため、設計者の視点で行う価格の検証方法についての提案を求める。		・価格の検証方法について効率的な提案がなされているか。		5	10	様式自由
・実現するための方策が明確となっているか。				5	A4縦2枚 若しくは A3横1枚			
ヒアリング対応		・ヒアリング時の提案について説明は分かりやすく質疑応答等に的確に対応できているか。			5	5		
						合計	100	

評価	評価レベルの考え方
5（10）	特に優れている（発注者の要求水準を大幅に上回っている、高度な能力を有している）
4（8）	優れている（発注者の要求水準を上回っている、十分な能力を有している）
3（6）	普通（発注者の要求水準を満たしている、一応の能力を有している）
2（4）	多少不十分である（発注者の要求水準を下回っている、多少能力が乏しい）
1（2）	不十分である（発注者の要求水準をを大幅に下回っている、能力が乏しい）